

愛の書法

春から

夏になっても

茴香から茴香へ（かつていまも）（そう、いつも）  
つまりくちびるからくちびるへ

苦い（アメールピコンのような）痺れ

わたされて

うつされて

（密はいけないなんて言われてもね……）

くちうつしでしかうつせない

愛の処方だ

うつすこと（モノクローム）で

うつされること（皺だらけのシート）で

雨が降るフィルムのように消し線だらけになって

季節から季節へ

さまざまなものやこと

さまざまなことやひとやものがうつろいで

茴香の苦みと（アメールピコンのような）

痺れともっと奥のふるえに

たたずんで秘法のように

くちうつしで

わたされる

愛の書法